

●第一期工事最盛期全写（昭和40年11月）



写真提供

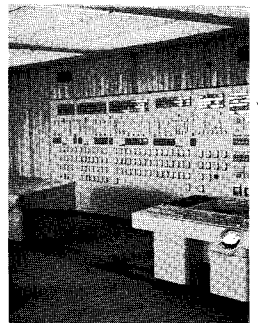
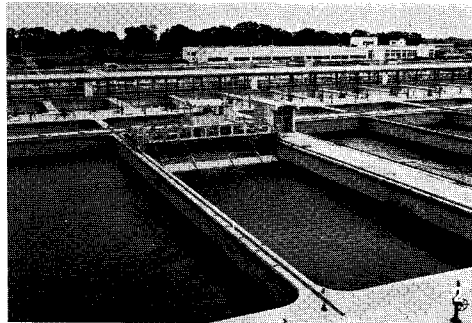
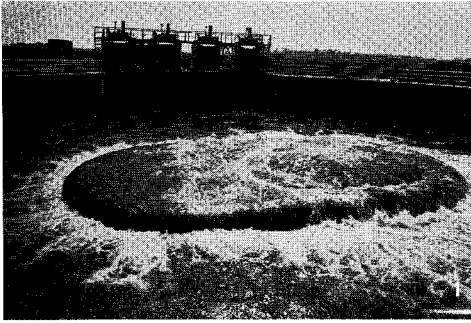
## 東京都朝霞浄水場通水開始

東京都水道局



●たん水直前の沈殿油野



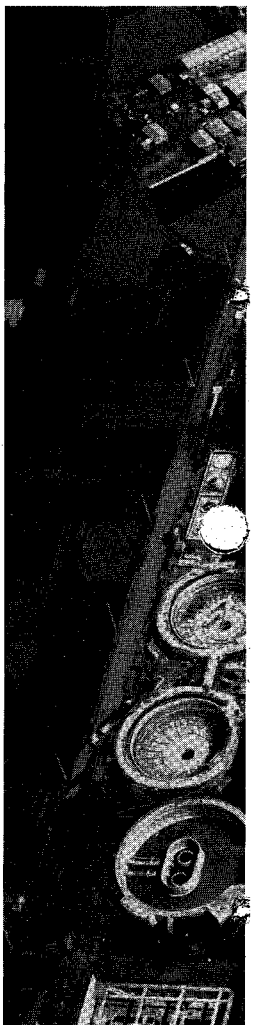
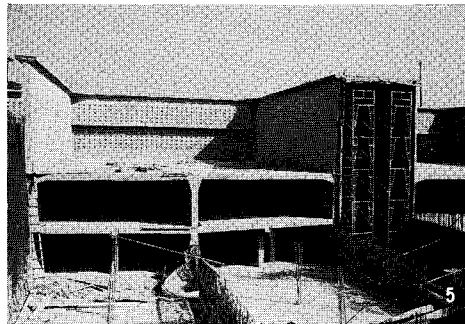
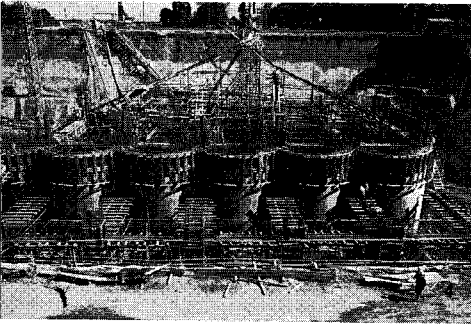


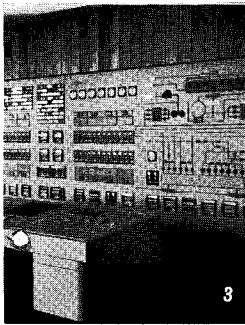
東京都水道局が戦前から企画しながら果せなかった利根川取水が、水資源開発公団建設の水源地からの受水という形でついに実現し、その中核となる朝霞浄水場の第1期工事がこのたび完成し、10月1日より通水を開始した。

この浄水場の特徴点は、地盤の関係と浄水能力当りの所要面積を節約するため、施設構造物の立体集約化を計ったこと、沈殿池は多階層形式とし中間引出しを採用したこと、既設多摩川

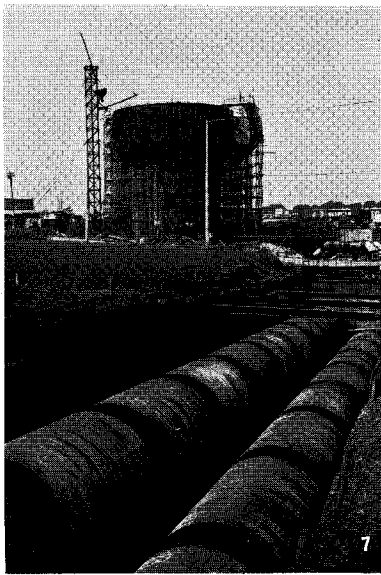
系との原水連絡を行い水源の相互運用を可能にしたこと、水道用として画期的な大容量ポンプを採用したこと、導水ならびに送配水管路に超大口径管を採用するとともに多数の一方向サージタンク群を設けたこと等である。

利根川系水道拡張事業は第一次・第二次にわかれ、総事業費1650億円をもって施工中であり、昭和45年度完成のあかつきには東京都の水需給に均衡がとれるものと期待されている。





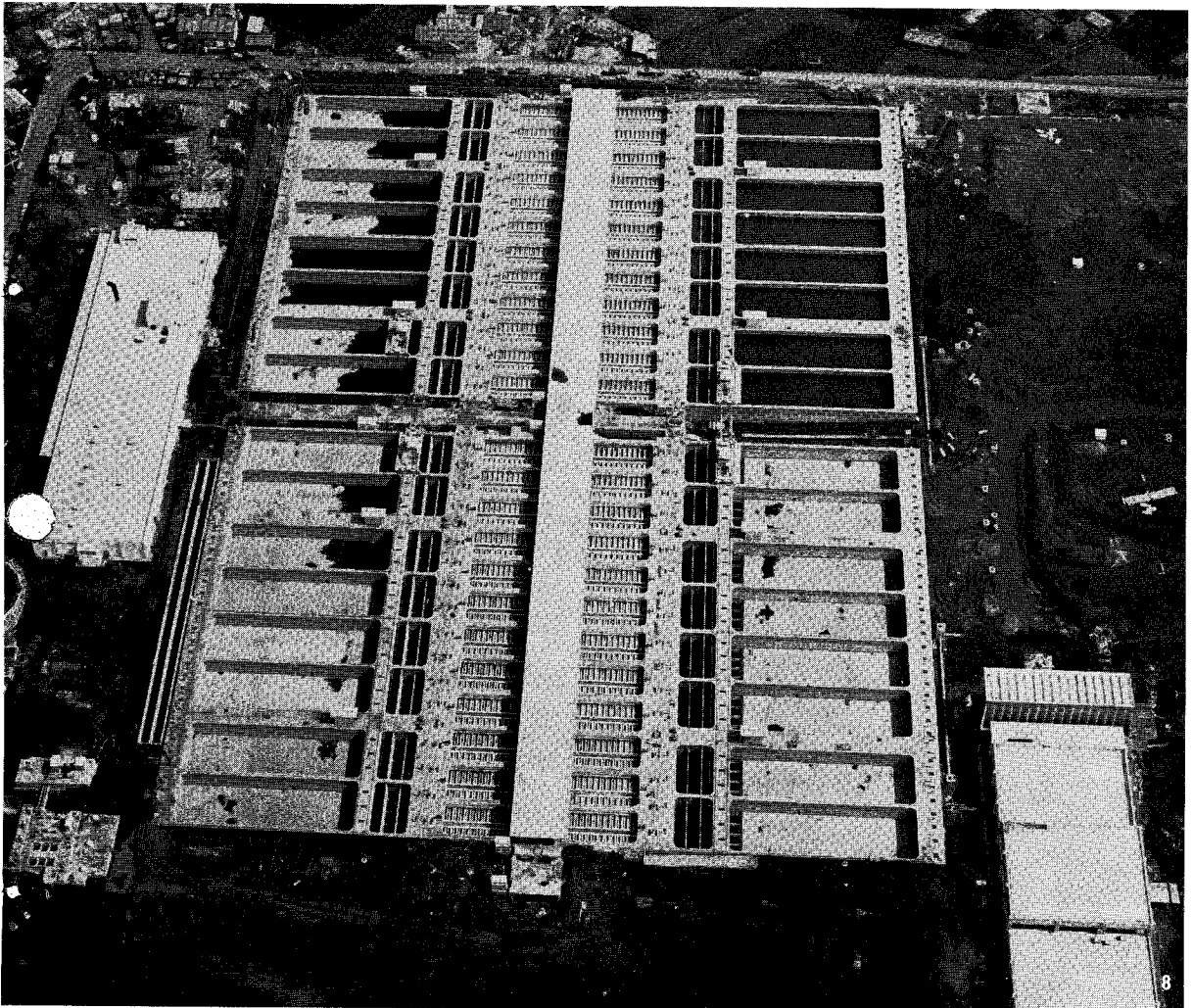
本文ニュース欄  
参照のこと。



### 写真説明

- 1 浄水場着水井・利根川の水が到着したところ
- 2 たん水した沈殿池群
- 3 第1管理室監視盤
- 4 原水ポンプ場連続アーチ構造部分の施工状況
- 5 下降折返し2階式(3層)沈殿池施工状況
- 6 浄水池施工状況
- 7 施工中の送水管用一方向サージタンク(No.1)と、 $\phi 2700$  mm,  
 $\phi 2200$  mm 送配水管路
8. 沈殿池, ろ過池, 操作廊の施工状況

写真提供・東京都水道局



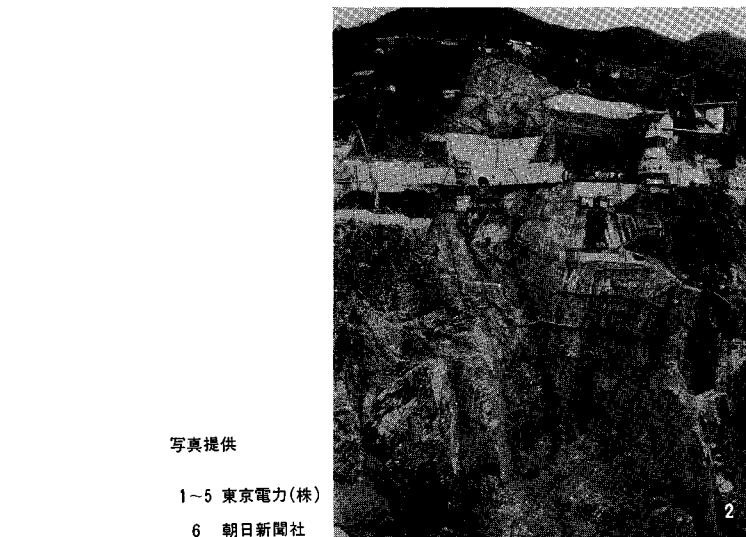
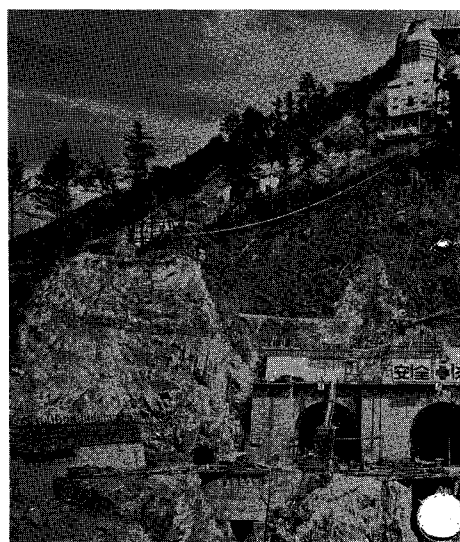


## 90万kW へいどむ——梓川の電源開発——

北アルプス槍ヶ岳に水源を発する梓川は、松本平へ出て犀川となり、さらに千曲川を経て信濃川となって日本海へ注いでいる。流域はアルプスの豪雪地帯の比較的良好な流況に恵まれ、電源地帯として大正時代から今日まで、すでに10カ地点約10万kWが開発されている。しかしながら、河水の利用度が低いこと等から急増する電力需要をまかなうためこのほど奈川渡、水殿、稲核の3ダムとそれ等に併設される安曇、水殿の揚水式発電所を建設することとなり、500億円の資金を投入90万kWの電力を生むこととなった。(詳細は本文報告欄を参照されたい)。

### 写真説明

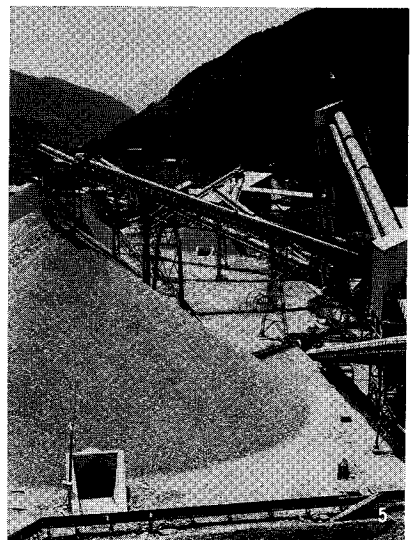
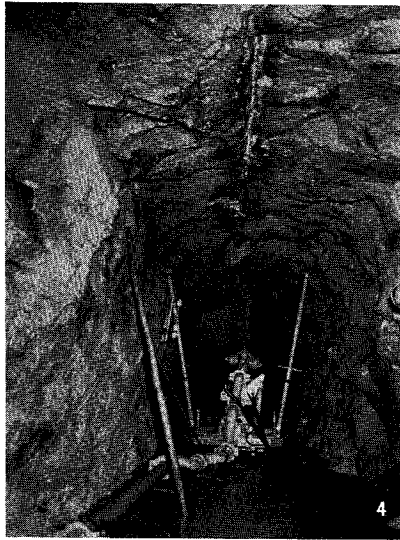
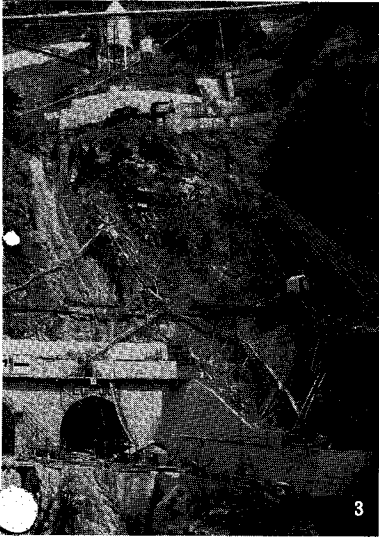
- 1 奈川渡ダム左岸
- 2 奈川渡ダム右岸
- 3 安曇発電所3～6号(揚水兼用機)取水口(昭和41年8月31日撮影)
- 4 断層掘削ウォータージェット工(左岸・昭和41年7月5日撮影)
- 5 骨材プラント(昭和41年6月14日撮影)
- 6 ダム地点全景(上流より撮影)



写真提供

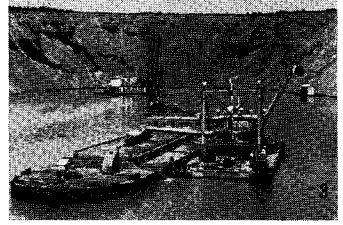
1-5 東京電力(株)

6 朝日新聞社

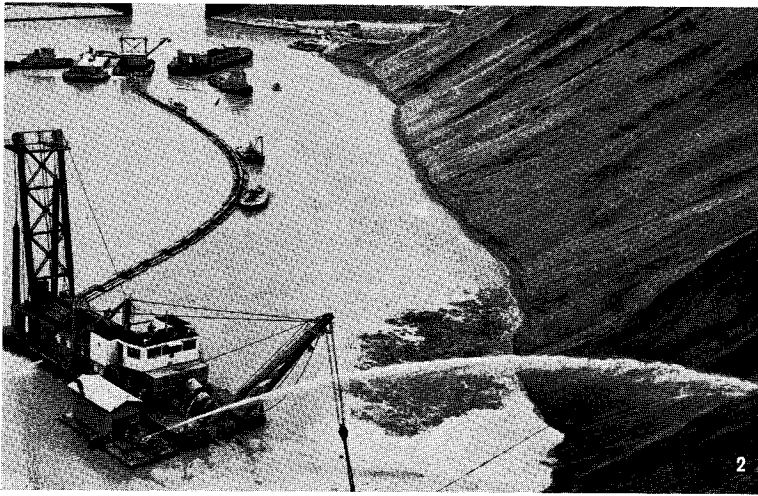




## 開削進む河北潟 干拓放水路



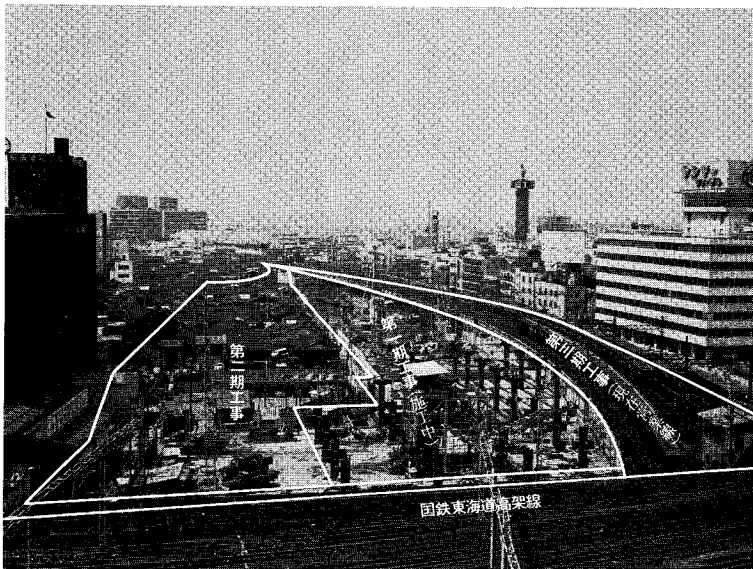
河北潟は金沢市の北方 10 km、能登半島のつけねのところにある。この河北潟のほぼ 3/5 を干陸して農地を造成する工事が、農林省の直轄事業として昭和 38 年から実施されている。写真-1 は開削中の放水路、写真-2 はジェット噴射を利用するしゅんせつ作業、写真-3 は新たに河北潟で開発されたサンドローダーである。詳細は、本文ニュース欄を参照されたい。



写真提供

1 読売新聞社

2.3 農林省農地局



## 阪急梅田駅拡張工事 着手さる

商都大阪の表玄関に当る、国鉄、阪急の両駅のうち阪急電鉄梅田駅では、このほど増大する利用客に対処するため拡張工事を実施することとなり、このほど着工した（本文報告欄 参照）。写真は阪急梅田ビル北方より撮影したもので、施工中（写真中央）の第 1 期工事現場をはさんで、左側の住宅群が第 2 期工事地点、右側が第 3 期工事地点（現在営業中）である。

写真提供・阪急電鉄（株）



# ●土木建設界のすべてを系統的に鳥瞰できるわが国唯一の年鑑!?

## ■本年鑑の構成

### 口絵写真

#### 第1編—論説

- 本年度までの経過の分析から明日のあるべき姿の概要を記述

#### 第2編—展望

- <事業の社会における役割>に注目、土木界の動きを解説
- ①社会の動き 世界の動き／国内の動き／本年のトピックス
- ②行政と事業 建設行政の動き／事業と予算
- ③建設産業 産業界の動向／建設業／コンサルタント業／地質調査業／橋梁およびPC業／建設資材業／建設機械業／測量業／水処理／本年のトピックス
- ④工学と技術 研究および研究機関／技術および事業各論／技術導入
- ⑤教育および技術者 教育および技術者／技術者問題
- ⑥海外協力

#### 第3編—工学技術および関連資料

- 純客観的な観察と記述、大学・研究所・現場その他の成果
- ①計 画 代表的な長期計画のマスタープラン

- ②研究および技術 基礎技術・応用技術
- ③特許・実用新案
- ④出版および技術論文 新刊図書／技術論文／報告書
- ⑤各部門の動向 建築部門／運輸・通信部門／材料部門／機械部門／その他の部門

#### 第4編—事業

- 工事写真・計画図・重要図面・一般(諸元、新技術、特徴)
- 国土計画／地域計画／道路／鉄道／都市計画・土地造成／上下水道・工業用水道・水資源／治水・治山・海岸／港湾・漁港・航路標識／空港／発電施設／土地改良・干拓／防衛施設／観光とレクリエーション施設／工場施設／建築／災害／海外事業／諸調査

#### 第5編—資料

- 建設産業を営むに必要な、正確な新しい諸統計
- 国土・人口／建設事業量／治水・治山・海岸／道路／鉄道／港湾・漁港／都市計画／上水道・工業用水道・下水道／災害・災害復旧／コンサルタント・測量／建設業／建設機械／建設労務／建設資材／積算・諸掛／工事価格・土地価格／一般経済／主要土木施設／新法令解説
- 付・大学講座別教官名簿／研究施設

..... 切 取 り 線 .....

## 申 込 書

東京都新宿区四谷1丁目  
 社団法人 土木学会刊行物頒布係 行  
 電話 351—5130 (直通), 振替口座 東京 16828 番

### ■ 申込者名

校名または会社名  
 所 在 地  
 担当者 職 名 ⑧  
 担当者 氏 名

書 名	部 数	送 料	合 計
土木年鑑 1967年版 定価 3500円	部	本票使用分のみ 学 会 負 担	円

上記のとおり代金を添えて申込致します。

昭和41年 月 日

注：御送金のときは本申込書を同封願います。

手続上、前金が無理の場合には、請求書類の御必要枚数を御記入の上、学会まで御申込下さい。現品に書類を添えて御送り致します。